


平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3 - 1	総合案内盤情報提供事業	継続	H3年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課		対象者	中原区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	JR武蔵小杉駅北口に設置している総合案内盤は、地図で区内の公共施設を案内しているほか、行政情報を文字情報で提供している。メンテナンスと文字情報サービスの更新を行い、引き続き情報提供を行う。地図には区内の主要施設が表記され、合わせて点滅サインがあり、ボタンを押すことによりサインが点滅して当該施設の位置を案内している。また、地図上部には文字情報が示され、月1回の更新により行政情報を提供している。					
予算額	604,800(円)	決算額	453,600(円)	不用額	151,200(円)	
不用の理由	総合案内盤機能廃止に伴い委託期間を平成20年3月までから平成19年12月(全12回から9回に減)に変更したため。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		駅前において不慣れな来訪者に区内主要施設の案内し、また、区民や通勤・通学等で駅を利用している人に対しては、文字情報で行政情報を提供した。 月1回機器の清掃及び点検作業を行い、併せて文字情報の更新を行った。 平成19年10月25日変更請書を締結し、平成20年3月31日までの履行期限を平成19年12月31日までとし、総合案内盤での情報掲出機能、操作ボタンによる地図案内機能を停止した。			
	JR武蔵小杉駅北口の総合案内盤		実施時期 (開催日/回数等)	平成19年12月 まで(全9回)	参加 人数等	JR武蔵小杉駅 北口利用者

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
総合案内盤は平成3年に設置されたことから、故障が多く、交換部品についても在庫がなくなりつつあった。また専用の設計・部品使用のため、委託先の変更が難しく、交換部品がなくなりつつあることから委託先の業者は委託の継続について難色を示していた。これらのことに加え、駅前再開発が進み近年中に地図情報が大きく変わることから、平成19年12月31日をもって総合案内盤情報掲出機能、操作ボタンによる地図案内機能を停止した。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	当事業は平成19年度をもって終了とする。

区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> 再開発に伴い、街が大きく変わるので案内盤は必要だと思う。 北口だけではなく南口などにも設置して欲しい。
--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3 - 2	中原区ホームページ事業	継続	平成14年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課		対象者	区民ほか全国へ発信		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容	市民局ｼﾝｼﾞｰ ﾙｰﾙｽ 広報室			
目的及び内容	行政情報を広く区民や地域住民に発信し、また区のシティセールスの重要なツールとして、円滑な区ホームページの運営を行なう必要がある。ホームページの適切な運用にあたっては、専門的な知識が必要とされることから、運用に係る支援を委託する。また、通常の更新作業を行なう区役所職員の技術力向上や広報マインド醸成のため、職員研修を実施する。					
予算額	609,000(円)	決算額	609,000(円)	不用額	0(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (デザイン変更後の区HPトップページ)		職員向け研修会を4回実施。座学形式の広報マインド醸成講座のほか、ホームページビルダーの実習研修を行なった。延べ約80人の参加。 区ホームページのアクセシビリティ対応(音声ブラウザなどに対応したページづくり)を平成18年度の課題として取り組んだ。また、この対応に合わせトップページのデザイン変更も実施した。			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	80人(講習会)		

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
4回実施した研修により各課担当職員の更新技術、広報マインドが上昇し、通常の作業が効率化した。またこれにより積極的な行政情報の発信が行なわれることとなった。今後市民の参加と協働によるまちづくりを進めていく上で、積極的な情報発信は必要不可欠であり、その基礎となる研修であると考えます。 課題として取り組んだホームページのアクセシビリティ対応については、公共のサービスを提供する行政として重要な取り組みであった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	より一層の情報社会の進展、小杉駅周辺の再開発事業に代表される人口増などにより、区ホームページの需要は高まると考えられる。一方、ホームページで提供されている情報の頻繁な更新、確認作業にかかる業務量は少なくない。より簡易かつ適切な管理が可能となるような運営手法を模索する。

区民会議からの主な意見


・ホームページを通じた情報発信はこれからの時代、より必要とされるのでより見やすく使いやすいホームページにして欲しい。
--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3-3	窓口サービス改善事業	継続	18年度	区民課

1 事業概要

事業実施主体	総務課、区民課等 計7課		対象者	中原区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他(直営&工事請負費)		関連事業局 ・事業内容	中原区サービス向上委員会 (旧 区窓口サービス改善推進委員会)		
目的及び内容	区役所を来庁者に対して、より質の高い窓口サービスを提供できる窓口サービス向上を目指し、職員研修を継続実施する。 また、高齢者や障害者に優しい窓口環境とするため、ローカウンターを設置し、安全で安心して来庁できる区役所を目指す。					
予算額	2,567,000(円)	決算額	1,297,065(円)	不用額	1,269,935(円)	
不用の理由	職員研修については、区窓口サービス改善推進委員会での検討により、現時点で職員の関心が高い研修テーマ「区役所業務を知る～【たらいまわし】を防ぎ、情報の共有・活用を!～」を設定したため、当該テーマについては、内部講師等による研修実施がより効果的と判断したため。外部講師等を招く委託業務方式を行わなかったため。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		(研修) ・テーマ「【たらいまわし】を防ぎ、情報の共有・活用を!」 ・開催日 12/26.27 1/8.9 の半日、4回開催 ・参加者 約150名 (ローカウンター設置) 6課(窓口)に設置 1階 区民課、保険年金課 3階 市民税課、資産税課、納税課 別館3階 衛生課			
	設置したローカウンター		実施時期 (開催日/回数等)	研修 12/26～1/9 の内 4回開催	参加 人数等	約150名

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
研修については、「区窓口サービス改善推進委員会」の検討を経て、職員の関心が一番高い身近なテーマ選定により、当該事業の目的は達成された。来年度以降は、指針に基づいた区役所サービス向上が推進できる研修手法の検討を行う。 ローカウンター設置については、従来のカウンターの一部をロ-カウンターに改善し、高齢者や障害者の来庁時に安全で安心した対応が可能となった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成19年度末に策定された「区役所サービス向上指針」に基づき、中原区役所サービス向上委員会を中心に、区役所の窓口サービス向上に向けた、検討・取組を進める。

区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> ・ローカウンターは車椅子などへの対応としても良いと思う。 ・サービス向上のための研修は良いと思う。
--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3 - 4	市民活動支援サイト事業	継続	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課		対象者	区民ほか全国へ発信		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営	一部委託	全部委託	その他()	関連事業局 ・事業内容	
目的及び内容	区内で活動している市民活動団体や地域団体の活動の情報交換・情報発信の場を構築し、市民活動団体の支援を通じた地域の活性化を図る。					
予算額	6,246,000(円)	決算額	5,204,902(円)	不用額	1,041,098(円)	
不用の理由	契約差金					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		中原区役所5階に設置されていた区民活動支援コーナーを中原区民交流センター「なかはらっば」としてリニューアルオープンし、新たに中原区民交流サイト「ウェブなかはらっば」を開設した。			
	 <p>(ウェブなかはらっば)</p>		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月1 0日開設	参加 人数等	登録団体 150 団体

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
新たに登録団体が100団体近く増え、交流の場や情報発信の場として利用がされた。また、交流サイトについては、月間のアクセス数が当初4ヶ月で10000アクセスになり、区民や登録者の関心が高いことがうかがえた。また、運営にあたっては中原区まちづくり推進委員会が区と協働で行い、中原区まちづくり推進委員会が利用者団体を巻き込み独自企画の立案など行っている点は評価できる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	運営方法や方向性など、利用状況を把握しながら検討を行いつつ継続していく。

区民会議からの主な意見


・交流の場の設置やホームページの立上げだけで終わらず、有効活用を図って欲しい。

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3 - 5	青色回転灯自主防犯パトロール推進事業	新規	平成19年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	防犯活動を行う町会・自治会 等区内活動団体		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容	市民局地域生活課・青色回転灯パトロール			
目的及び内容	青色回転灯装着自動車によるパトロールに必要な青色回転灯やマグネットステッカーを貸与するなどして、区内各地域で実施している自主防犯パトロールの活動支援及び活性化を目指す。					
予算額	96,000(円)	決算額	13,641(円)	不用額	82,359(円)	
不用の理由	青色防犯灯を活用して防犯パトロールの実施を希望する防犯活動団体が少なかったため。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		木月4丁目共和会が、区内で初めて青色回転灯を町会所有の車に取り付けることにより、効率的、広域的に防犯パトロールを実施することができ、地域の安全に貢献できた。			
	(青色回転灯によるパトロールの様子)		実施時期 (開催日/回数等)	平成19年9月26日 から随時	参加 人数等	-

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
地域の方々が安全・安心なまちづくりを目指し、誰もが安心して暮らすことのできる環境整備が求められる中で、自らの活動で青色回転灯による防犯パトロールを行うことにより、広く地域の防犯対策、防犯意識向上に貢献することができたということは大変意義があった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	青色回転灯の貸与についてPRの方法を改善し、町会を始めとしたより多くの防犯活動団体に実施してもらえよう啓発していく。

区民会議からの主な意見


・広報の仕方を検討し、利用する団体を増やして欲しい。

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3 - 7	保健所ベビーカー置き場設置事業	新規	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課		対象者	区役所来庁者		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	毎週実施している3カ月、1歳半、3歳児健診においてベビーカー置き場がないことから、玄関入口やロビーがベビーカーで溢れかえっているため、置き場を設置し快適性と安全性を確保する。					
予算額	829,000(円)	決算額	622,818(円)	不用額	206,182(円)	
不用の理由	契約差金					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		区役所別館（保健福祉センター）の2箇所あるスロープのうち、1箇所を改修し、屋根付きでベビーカーの盗難防止に配慮した設計のベビーカー置き場を設置した。			
	(区役所別館のベビーカー置き場)		実施時期 (開催日/回数等)	平成19年11月	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
ベビーカー置き場の利用により、健診時の区役所別館入口及びホールの混雑が緩和された。 また、ベビーカー置き場を設置し屋根を付けたことで、雨の日の区役所別館利用者の出入りがし易くなった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	当事業の目的は達成されたことから終了とする。

区民会議からの主な意見

・以前はベビーカーが乱雑に置かれていたので、良いことだと思う。
